



せたがや区議会だより

No.282

令和3年(2021年)11月13日

発行 世田谷区議会

〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27

TEL(5432)1111代表 FAX(5432)3030

<https://www.city.setagaya.lg.jp/kugikai/index.html>

令和2年度決算を認定

第3回 定例会



区立小中学校におけるタブレット端末を活用したICT教育の様子

議決内容

議決した案件の概要をご紹介します。今回の定例会には、区長から2年度決算5件を含む32件の案件が提出されました。また、2年度決算を審査するために決算特別委員会を設置しました。提出された議案のうち2年度決算5件を認定し、そのほかの議案は全て可決しました。

※本紙に掲載する条例名は略称を使用しています。

●2年度各会計決算の認定 5件

○一般会計

(全員賛成)

○国民健康保険事業会計

(賛成多数)

賛成多数 虹世谷、あたら、藤、園、区会、無所属

賛成多数 虹世谷、あたら、藤、園、区会、無所属

○後期高齢者医療会計

(賛成多数)

賛成多数 虹世谷、あたら、藤、園、区会、無所属

賛成多数 虹世谷、あたら、藤、園、区会、無所属

○介護保険事業会計

(全員賛成)

○学校給食費会計

(全員賛成)

関連記事は6ページに掲載

●3年度各会計補正予算 6件

○一般会計(第三次)

(全員賛成)

○一般会計(第四次)

(賛成多数)

賛成多数 虹世谷、あたら、藤、園、区会、無所属

賛成多数 虹世谷、あたら、藤、園、区会、無所属

○国民健康保険事業会計(第一次)

(賛成多数)

賛成多数 虹世谷、あたら、藤、園、区会、無所属

賛成多数 虹世谷、あたら、藤、園、区会、無所属

○後期高齢者医療会計(第一次)

(賛成多数)

賛成多数 虹世谷、あたら、藤、園、区会、無所属

賛成多数 虹世谷、あたら、藤、園、区会、無所属

○介護保険事業会計(第一次)

(全員賛成)

○学校給食費会計(第一次)

(全員賛成)

補正後の予算額は次のとおり。

一般会計 三五五億八八六万四千円
国保会計 八〇七億八八三万七千円
介護会計 二二億九七〇七万六千円
給食会計 七〇四億四三三万五千円
給食会計 三一億三〇万九千円

●条例の改正 10件

○個人情報保護条例

(全員賛成)

○行政手続における個人番号の利用等条例

(全員賛成)

以上2件は、番号法の改正に伴い、必要な規定を整備する。

○会計年度任用職員の給与・費用弁償条例

(全員賛成)

報酬月額等の計算方法を週単位から月単位の勤務時間に改める。

○出張所設置条例

(賛成多数)

松原まちづくりセンターの位置を松原5-43-28に変更する。

○公園条例

(賛成多数)

給田松の香公園(給田1-3-20)を新設する。

○旅館業法施行条例

(全員賛成)

浴槽水に係る設備や衛生措置の基準を強化することなど。

8ページへ続く

会派名等

自民 自由民主党世田谷区議団
公明 公明党世田谷区議団
立憲 立憲民主党世田谷区議団
F行革 無所属 世田谷区議団
共産 日本共産党世田谷区議団
生ネ 生活ネットワーク世田谷区議団
新風 新風・せたがやの風
減税 減税せたがや
虹 レインボー世田谷
世田谷 世田谷無所属
あたら Seitagaya あたら
都ファ 都民ファーストの会
国際 国際都市せたがや
区守会 区民を守る会
無所属 無所属

公職選挙法の規定により、議員の寄附行為や時候のあいさつ状などは禁止されています。

代 表 質 問

9月15日の本会議で、4名の議員がそれぞれの会派を代表して質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

自由民主党世田谷区議団
石川 ナオミ議員



コロナ患者受入れの施設拡大要請

質問 感染爆発により宿泊施設で療養が必要な人も自宅療養を強いられ亡くなる例が相次いだ。区内感染者が可能な限り施設入所できるよう早急に都との協議を進めよ。

副区長 利用可能な数急減に危機感を持ち都に再三改善を求めている。

パラスポーツによる共生社会実現

質問 東京2020大会のレガシーとしてパラスポーツを区に根づかせるべきだ。大会で高まった機運を生かし、ポッチャなどを通して普及啓発を進め共生社会を実現せよ。

スポーツ推進部長 パラスポーツを通じて障害理解を深め実現を目指す。

建設業発展に資する入札制度改革

質問 今回事された制度は、基準価格未満の場合に評価が下がる仕組みのため低価格入札の抑制が期待できる。労働者を守り建設業発展につながるよう実効性を高めよ。

副区長 4年度からの試行実施に向け事業者に丁寧周知していく。

旧池尻中跡地活用の進め方

質問 旧池尻中跡地活用を具体性に乏しい制度設計のまま、議会との合意形成もなく進める区の姿勢は疑問だ。収益性や公益性を踏まえた事業計画を区民に明確に示せ。

区長 区民や議会の理解が得られるよう丁寧な説明と議論に努める。

実施計画策定に当たっての視点

質問 区は未来つながらるプランと称し次期基本計画への橋渡しとなる実施計画を検討中だ。感染症や自然災害、DXの趨勢を見極め目指す将来像から逆算して策定せよ。

区長 10年後の区の将来像を意識しながら具体的な取組を検討する。

地域行政制度の展開における課題

質問 地域行政は地域住民の支えなくして成り立たない。町会自治会の世代交代やコミュニティーの希薄化などの課題を踏まえ区はこのように地域行政を展開するのか。

副区長 まちづくりセンター機能の充実強化を図り地域を支えたい。

計画的かつ着実な学校改革の実施

質問 学校改革は巨費を要するが、教育環境の改善や区内経済への波及効果などの点から財政見通しが不透明でも先送りにすべきでない。

教育長 あらゆる創意工夫を行い、90校の計画的な改革に取り組む。

斜面地の崩落事故防止への取組

質問 近年多発する局地的豪雨は斜面地を崩落させ隣家などに被害が及ぶおそれがある。豪雨対策行動計画改定版に斜面地崩落による危険性を明記して区民に周知せよ。

副区長 ハザードマップによる適切な周知を計画に盛り込む。

千歳台交差点への横断歩道の設置

質問 千歳台交差点での歩行者の安全確保は長年の課題だ。歩車分離式信号機や歩道橋へのエレベーター設置が実現困難ならば、横断歩道の新設を都などに強く求めよ。

土木部長 具体的な検討について警視庁や都に積極的に求めていく。

ICT教育での学校間格差の解消

質問 区のICT教育では、教員のタブレット活用の習熟度によって格差が生じている。区は現場任せにせず学校や家庭から実態を調査してサポート体制を強化せよ。

教育政策部長 学校訪問での指導助言などで支援体制を強化する。

障がい者が安心できる環境の整備

質問 障がい者が安心して地域で過ごすには活動や生活の場となる施設の拡充が必要だ。検討中の障がい者の理解促進や差別解消に係る条例を施設整備促進につなげよ。

副区長 条例化を機に新規整備や運営事業者支援などに一層努める。

待機児解消後の保育施策の方向性

質問 区は2年4月に待機児童ゼロを達成した一方で、施設過多により経営困難な民間施設も存在する。需給の見極めが肝要な今後の保育施策をどのように進めるのか。

区長 保育定員の適正化や子育て支援策の充実などの取組を進める。

公明党世田谷区議団
津上 仁志議員



若年層へのワクチン接種の促進

質問 コロナワクチンの若年層の接種率向上に一層力を入れるべきだ。若者が多い三軒茶屋や下北沢での専用会場の開設や既存会場での夜間休日予約枠の拡大を図れ。

区長 若者に合った接種の時間帯や場づくりなどを工夫して進める。

酸素療養ステーションの増設

質問 コロナ禍での医療逼迫の再来を見据え自宅療養者の命を守る体制を強化すべきだ。容体が悪化した自宅療養者に酸素投与を行う酸素療養ステーションを増設せよ。

副区長 病床数を拡大した新たなステーションを開設する予定だ。

不登校特例校開設への道筋

質問 区は不登校特例校設置の前段階となる分教室を開設予定だが、生徒数が定員に満たず分教室から学校への移行が難航する自治体もある。移行に向けた道筋を示せ。

教育長 移行作業の中で着実に課題解決し魅力ある特例校を目指す。

民間委託した図書館の効果検証

質問 持続可能な区政運営に向けて始まった図書館民営化の効果を区直営館と比較し十分に検証すべきだ。新公会計制度によるフルコスト分析や区民満足度調査を行え。

教育長 コスト分析や区民の要望を踏まえ評価検証を着実に行う。

私立保育園の存続に向けた対策

質問 0〜2歳児の欠員がこのまま続けば私立園は経営難で閉園してしまつ。区立園の定員減や3〜5歳児保育への特化など、定員調整を行い私立園の存続に尽力せよ。

副区長 区立園新設の先送りや定員減などの定員調整を進めていく。

新BOP民営化への検討状況

質問 さきの議会で新BOP民営化を求める我が会派の質問に対し、区は9月に今後の方向性を取りまとめると答えた。進捗状況を示せ。

子ども・若者部長 時間を要している

が検討を進め今後結果を報告する。

浸水想定区域での要支援者の対応

質問 多摩川の洪水に備え浸水想定区域に住む避難行動要支援者が避難しやすい身近な高層施設が必要だ。学校の高層化や玉川高校跡地への施設整備などに取り組み。

危機管理部長 適切な階数の設定などは重要であり今後検討する。

土砂災害対策の強化

質問 盛土が原因で起きた熱海市の土砂災害を教訓に区でも土砂災害警戒区域への早急な対策が必要だ。区内にある盛土や擁壁などを定期的に点検し安全を確保せよ。

副区長 水防態勢での現地確認や専門家による定期点検をしている。

食のネットワーク拠点の整備

質問 子ども食堂や被災者に安定的に食を提供できる体制が必要だ。寄附された食糧を保管し配送するロジ・ハブ拠点を玉川野毛町公園などに整備し官民連携で運営せよ。

危機管理部長 民間の食の支援状況などを踏まえ可能性を検討する。

本文中で使用している省略表記

東京2020大会

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会

環境リノベ事業

環境配慮型住宅リノベーション推進事業

うめとびお

梅ヶ丘にある全区的な保健医療福祉拠点の愛称

支所

総合支所



世田谷立憲民主党区議団
桜井 純子議員



将来を見据えた保健所の体制強化

質問 コロナ対応を進める中で保健所機能の脆弱性が露呈した。コロナ禍を教訓に防疫感染症対策や公衆衛生体制の見直しを図ること、今後の体制強化につなげよ。

区長 コロナ後も感染症などに臨機応変に対応できる体制をつくる。

区政が目指すべき将来像の明確化

質問 策定中の未来つながらるプランで区政の目指す方向性を示すことが重要だ。世界的に取組が進むインクルーシブ社会実現やジェンダー主流化をプランに明記せよ。

区長 10年後を見据え地域共生社会の実現に向けた施策を進める。

インクルーシブ教育実現の具体策

質問 区は障害の有無を問わず共に学ぶインクルーシブ教育実現を明言してきた。絵空事とせず教育ビジョン調整計画で具体策を示せ。

教育長 教員を対象としたガイドライン策定など具体的取組を示す。

ヤングケアラー支援の早期実施

質問 家族の介護を担う子どもの中には、進学や就職を諦めたり、心身の不調などの課題を抱える例が多い。支援が後手に回らないよう早急に実態調査し対策を講じよ。

高齢福祉部長 実効性ある支援に向け調査の実施を早急に検討する。

手話言語の在り方に係る条例制定

質問 区は手話言語の在り方を含めた障害者差別解消への条例を策定中だ。手話文化を認め言語として理解されるよう個別条例とせよ。

障害福祉部長 当事者や家族などの意見を聞き課題整理し検討する。

気候危機への区の対応

質問 深刻化する気候変動に対し、国はプラスチックの資源循環を目指している。区は新設した気候危機対策会議で焼却処分してきたプラスチックの分別回収を検討せよ。

副区長 対策会議を活用し、全庁を挙げて課題解決に取り組む。

無所属世田谷区議員
大庭 正明議員



区の非効率なコロナワクチン接種

質問 我々が6月議会まで区のワクチン接種速度の遅さを指摘したにも関わらず、区は8月下旬まで国基準の接種所要時間3分を超えた4分で接種を続けた。なぜか。

区長 ワクチン供給数が不確定な中で改善しようにもできなかった。

公共施設整備のむやみな先送り

質問 区長は財政黒字化を糊塗するため必要な公共施設整備を先送りしている。手当たり次第に施設を長寿命化するだけの整備方針で合理性や安全性を確保できるのか。

施設整備担当部長 施設の老朽化を踏まえ可能な場合は長寿命化を図る。

DX推進による行政サービス向上

質問 渋谷区はデジタル技術を活用し区民が来庁しなくても済むような行政を目指しDXを推進している。これを模範に区も取り組め。

副区長 5年度を目標に庁内情報基盤の具体的な見直しを進める。

DX推進とデジタル弱者対策

質問 DX推進に際しデジタル機器に不慣れな高齢者などへの配慮が必要だ。住民と行政のつなぎ役として活躍する民生委員の確保に向け報酬など具体的な検討を行え。

保健福祉政策部長 人同士のつながりによる活動の充実に向け支援する。

教員のいじめ認知能力への認識

質問 区はいじめ認知件数が都平均より極端に低い資料を基に教員のいじめ認知能力不足と決めつけ、いじめ防止基本方針を改定した。認知件数は能力不足の表れなのか。

教育長 各区のいじめの定義の違いから生じているものと考ええる。

スピード感のない区長の区政運営

質問 区政運営にはスピード感が必要だが、保坂区政ではどの施策かを例に挙げるまでもなく全てが遅れている。区長の認識を示せ。

区長 財政などを維持しながら全体のバランスを図り決定してきた。

9月16日及び17日の本会議では、31名の議員が区政をめぐる諸課題について質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

**神尾 りさ 議員
(国際)****職育住近接による育児環境の充実**

質問 子育て家庭が住まいの近くで支援を受けられる環境整備を進めるべきだ。保育園が地域の子育て拠点となるよう相談機能の充実や一時保育の利用制限緩和を図れ。

答弁 保護者が休息できるよう一時保育の利用条件緩和を検討する。

茶沢通りを軸としたまちづくり

質問 三軒茶屋と下北沢を結び茶沢通りは双方のにぎわいもつなぐ道とすべきだ。沿道の3つの地区計画を踏まえ歩道の拡幅などのまちづくりを住民と共に進めよ。

答弁 地域の意見や既存の計画を踏まえた上で検討を進める。

ひきこもりへの就労支援策の構築

質問 区はひきこもりを多様性として受け入れ、就労支援を進めるべきだ。就労希望者が自身の才能を生かした仕事に就けるよう様々な種類の仕事を用意し提案せよ。

答弁 誰もが主体的に働けるよう時代に即した仕事を提案していく。

**つるみ けんご 議員
(新風)****区民の心と体の健康を守る対策**

質問 長引くコロナ禍で若者の自殺増や高齢者の虚弱化など、区民の心と体の健康には多大な悪影響が出ている。心理的变化の実態を継続的な視点で捉え対策を講じよ。

答弁 短期的、中長期的に区民の実態を把握し具体策を検討する。

ワンストップ窓口の実現

質問 区長が公言したまちづくりセンターにおけるワンストップサービス導入は、窓口でのたらい回し問題の解決が期待できる。実現に向け課題をどう乗り越えるのか。

答弁 地域行政に係る条例などの検討で具体化を図り実現を目指す。

認知症者損害保険制度導入の判断

質問 認知症に係る損害賠償保険制度は今なお全国の自治体で導入が進む中、当区での実施について

**藤井 まな 議員
(立憲)****区の労働報酬下限額の引上げ**

質問 区の委託契約などの労働報酬下限額は一昨年から据え置かれたまま。都の最低賃金が28円引き上げられることなどに鑑み区も来年には最低でも20円引き上げよ。

答弁 労働報酬専門部会からの意見書や区の財政状況から判断する。

福祉の複合施設における課題解決

質問 東京リハビリテーションセンター世田谷は開設から3年が経つが、今なお療養支援の在り方などに課題があり利用者から多くの不満の声を聞く。早急に改善せよ。

答弁 施設への訪問やモニタリングを通じ課題に対応していく。

養育費の公正証書の作成費補助

質問 ひとり親家庭が安定した生活を送るために養育費が確実に支払われる取組が必要だ。養育費の取決めを確定する際に作成する公正証書の作成費用を区で助成せよ。

答弁 ひとり親が必要な支援につながる仕組みの充実を図っていく。

**田中 みち子 議員
(生ネ)****性犯罪の根絶に向けた取組の強化**

質問 性犯罪、性暴力の根絶には日常生活に潜む性差別の解消が必要だ。全施策にジェンダー視点を取り入れるジェンダー主流化の定着に向け実効性ある取組を進めよ。

答弁 計画の見直しなどを通じてジェンダー主流化の定着を促す。

性教育に係る寄附資料の有効活用

質問 区内出版社より性教育に関する本の寄附の申出があったと聞く。コロナ禍で外部講師を呼べず学校での性教育が停滞する状況に鑑み授業などで有効に活用せよ。

答弁 学校出前講座での活用や教育委員会との連携などを検討する。

性差別解消に向けた冊子の配付

質問 男女が性差を理解し、よりよく生きる権利であるリプロダクティブ・ヘルス/ライツを幼少期から学ぶことは大切だ。提案してきた啓発冊子の作成状況を示せ。

答弁 医師などの監修を経て4年度に区立中の1年生へ配付予定だ。

**高橋 昭彦 議員
(公明)****認知症SOSネットワークの強化**

質問 区の認知症や高齢者に係る見守り事業はいずれも中途半端だ。警察や消防、交通事業者などと連携して認知症ネットワークの根幹となる本格的な見守り体制を築け。

答弁 社会福祉協議会との効果的な連携を検討し体制強化を目指す。

都営八幡山アパートの創出地活用

質問 区は都営八幡山アパート建て替えに伴う創出地に福祉施設の整備を都に求めている。少子高齢化の拡大を踏まえ真に必要な施設を見極めた上で都との協議に臨め。

答弁 時期を失することなく必要な施設を提案できるよう検討する。

千歳台交差点への横断歩道の整備

質問 環八千歳台交差点での横断歩道整備は7年前から私が訴え、また住民も車椅子などの安全な横断を求める要望書を出したが、いまだに進まない。直ちに解決せよ。

答弁 具体的な検討を求め、警視庁と都に対し積極的に働きかける。

**和田 ひでとし 議員
(自民)****高齢者に寄り添った介護予防講座**

質問 区が始めたオンライン介護予防講座はコロナ禍での画期的な取組だが申込方法が電子申請では高齢者が参加しづらい。電話やFAXでも受付や問合せに対応せよ。

答弁 今回の試行結果を踏まえ、より参加しやすい内容に改善する。

全地区での避難所運営体制の強化

質問 多くの地区では地元住民が主体となって震災時の避難所運営体制を強化しているが、進展が見

られない地区もある。地区同士の情報共有などを促し底上げを図れ。

答弁 避難所運営委員会を構成する町会などへの支援を強化する。

災害ごとに異なる避難所の周知

質問 区民が適切な避難行動を取るためには風水害時と震災時の避難所体制の違いをしつかりと理解してもらうことが必要だ。区はどのように啓発を進めていくのか。

答弁 地域の防災活動への参加促進など避難先の認知度を高める。

**小泉 たま子 議員
(新風)****まちづくりセンター窓口機能強化**

質問 区の言うまちづくりセンターのワンストップサービス窓口実現はDX推進とともに進めることが肝要だ。今後の最先端窓口の将来像、到達点をどう考えているか。

答弁 充実した相談対応やICT環境下での手続支援の場を目指す。

旧池尻中跡地活用の全面見直し

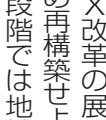
質問 区は民間市場調査を踏まえ、旧池尻中跡地活用案を示したが前提となる区の方針は庁内検討が不十分な上、地域経済発展に向けた位置づけがない。全面的に見直せ。

答弁 区民や議会、区内事業者などの意見を踏まえて検討していく。

知の拠点としての図書館の在り方

質問 図書館ビジョン第3期行動計画案には区の基本計画でいう「知の拠点づくり」の要素が見えない。地域行政とDX改革の展開と合わせ抜本的に改め再構築せよ。

答弁 計画案を示す段階では地域図書館の存在意義を明確にする。

**中山 みずほ 議員
(立憲)****区立公園の禁止看板設置の在り方**

質問 区立公園でのボール遊びなどの禁止看板設置は子ども外遊びを推進する区の姿勢と矛盾する。設置に際しては利用者間や地域住民との十分な対話の機会を設けよ。

答弁 近隣住民や利用者の声を大事に相互理解に向けて取り組む。

ゼロカーボンシティ実現への取組

質問 ゼロカーボンシティ実現を目指す区として住宅の省エネ化を助成する環境リノベ事業を一層推進すべきだ。区民が効果を実感できるようCO2削減量を見える化せよ。

答弁 削減するCO2を数値化し区民や事業者に分かりやすく周知する。

教員によるわいせつ行為の防止策

質問 教育現場において教員による子どもへのわいせつ事件が相次いでおり対策が急務だ。国が対策に係る枠組みを示す中、区は未然防止にどう取り組んでいるのか。

答弁 各校への指導や研修により、服務事故防止の徹底を図っている。

**中村 公太朗 議員
(立憲)****入札制度改革の区財政への影響**

質問 区が進める入札制度改革は現行より企業が高額に入札しても評価される仕組みであり落札金額の上昇が懸念される。財源が厳しい中、影響額は算定しているのか。

答弁 4年度の試行実施で財政支出への影響などを検証する。

入札制度改革に対する区民理解

質問 公契約適正化委員会が示した入札制度改革答申には、制度改革実現は区民の理解が前提とある。区が先般示した改革素案は区民理解を得た結果との認識でよいのか。

答弁 区民への適時適切な情報提供と理解促進に努めていく。

評価基準価格の漏えい防止策

質問 入札制度改革では評価基準価格という非公開の最高評価額を区が任意に定め落札者を決定する。情報漏えいすれば官製談合の危険性が高まるが、対策は万全なのか。

答弁 厳重な情報管理を徹底しリスク回避体制の強化に努める。

**上川 あや 議員
(虹)****熱海で起きた盛土災害は区内でも**

質問 私は以前から区内にも多い盛土宅地の滑動リスクを指摘し、都の甘いリスク評価の再検証を求

めてきたが区も専門家の知見活用を掲げた。どう対策に活かすのか。

答弁 都の公表資料を区独自に検証する際などに意見を聞く予定だ。

成城に自生する蜜固有種の保全策

質問 成城みつ池に自生する蜜の固有種は権威ある専門家の助言と熱心な地域住民の手で守られてきたが、その専門家の逝去後、代る専門家が不在だ。後継者探しを。

答弁 専門家を探すとともに支援団体と連携し一層の保全に努める。

区の花、鶯草の幻の固有種の存否

質問 大正期、三軒茶屋の田圃で採取された幻の芳香種「武蔵野」の存否が不明だったが、園芸高校OBが持ちちかも知れないという。存否の確認と保全活用策の検討を。

答弁 栽培者から情報を集め、今後の保全策や活用を検討していく。

**そのべ せいや 議員
(都ファ)****区立幼稚園教諭・保育士の待遇差**

質問 区立幼稚園と保育園の3歳児クラス以降で教育方針が共通化、機能が接近する中、幼稚園教諭の待遇が有意に高いが、将来の一元化も見据え待遇差を是正すべきだ。

答弁 乳幼児教育・保育制度の見直しの中で待遇について検討する。

公衆電話撤去後の跡地活用

質問 国の公衆電話設置義務の緩和方針を受け、区は道路や公園の公衆電話撤去後の跡地を有効活用すべきだ。将来の需要を見据え民間からも事業提案を広く募集せよ。

答弁 民間企業からの提案募集を図るなど活用方法を検討していく。

教育用タブレットの制限の再検討

質問 教育用タブレット端末の機能制限を6歳〜15歳まで一律としているが、年齢やスキルに応じて利用可能な機能を解放し、発達に応じた多角的な活用を推進せよ。

答弁 利用状況や保護者意見を踏まえよりよい運用方法を検討する。



佐藤 美樹議員
(あらた)



民間の視点を取り入れた計画策定

質問 次期実施計画案は区の未来につながる重要な計画だが、行政の発想だけで急速な社会の変化を見据えることは困難だ。民間人材の発想や知見を計画策定に生かせ。

答弁 次期基本計画策定の際は民間の発想なども取り入れ検討する。

コロナを契機とした官民連携推進

質問 区はコロナ禍、様々な企業と官民連携を図り、中でも楽天グループとのワクチン接種は大きな成果となった。この連携をDXなどでも生かすべく協定等の検討を。

答弁 協定締結の可能性も視野に持続可能な信頼関係構築に努める。

いじめに係る情報の迅速な共有

質問 学校でのいじめ解決には早期発見はもちろん、教員間の迅速な情報共有も重要だ。ICT教育の流れを踏まえチャット機能を用いるTeamsアプリを活用せよ。

答弁 ICT活用で子どもの情報を共有し早期発見、解決に努める。

くりはら 博之議員
(区守会)



NHK衛星放送契約の見直し

質問 区施設でのNHK衛星放送の利用状況に関する私の議会質問に対し、区は庁内調査を行い衛星放送の必要性を精査する旨を答弁した。その後の見直し状況を。

答弁 精査した結果、元年度契約数40件から3年度は14件減とした。

NHK訪問員トラブルへの対応

質問 区の消費生活相談には、NHK訪問員への苦情や強引な勧誘に関するトラブルの相談が寄せられていると聞く。こうしたトラブルの相談にどう対応しているのか。

答弁 契約や支払いの根拠の説明や営業センターの相談も案内する。

消費者ホットラインの一層の周知

質問 悪質な訪問集金や架空請求、詐欺など消費者問題は多様化している。身近な消費生活相談窓口を

案内する消費者ホットライン「188(じやや)」を区民に周知せよ。

答弁 一層の普及啓発に向け様々な媒体を活用し広く周知していく。

いそだ 久美子議員
(立憲)



接種を受けやすい予約枠の設定

質問 コロナワクチン接種が進む中、平日昼間や駅から遠い会場などの予約枠には空きが目立ってきた。10代や働く世代に配慮した夜間予約枠の拡充など改善を図れ。

答弁 若者や働く世代が利用しやすい会場で夜間枠の設定を行う。

保健センターの事業案内の手法

質問 保健センターは最新の健診設備を備え梅ヶ丘駅近くのつもとぴあに移転したが、利用者数低下が見られメディアによる広報が必要だ。一層踏み込んだPRを行え。

答弁 新たな手法でのPRも重要と捉え周知方法を検討していく。

旧池尻中跡地の校庭活用での課題

質問 旧池尻中跡地活用の対象である校庭は池尻小が授業で使用しており、民間活用策が優先されるのは疑問だ。小学校の活動時間を確保した先に民間活用を検討せよ。

答弁 跡地活用事例などを参考に活動が継続できるよう検討する。

桃野 芳文議員
(F行軍)



感染状況を見定めた学校運営

質問 学校ではコロナ禍以降、授業などが予定どおりに進んでいない。長期休み期間中に感染が落ちている場合は登校日を先取りするなど、柔軟な対応に努めよ。

答弁 校長会と相談し、授業日を確実に確保する方策を検討する。

医療的ケア児への支援の拡充

質問 医療的ケア児支援に係る法施行を受け早期に支援拡充を図るべきだ。学校に人工呼吸器を扱う看護師を配置するなど保護者の付添いなしで学べる環境を整備せよ。

答弁 早急に課題を整理し必要な措置の実施に向けて検討を進める。

若者へのワクチン優先接種の実施

質問 若者へのコロナワクチン接種を進めるため、国が自治体に受験生などへの優先接種枠の設置を求める中、区には取り組む気概が感じられない。なぜやらないのか。

答弁 優先枠ではなく、夜間の接種枠拡大の方向で検討している。

青空 こうじ議員
(無所属)



子どもを守る交通安全対策の強化

質問 区は下校中の児童が犠牲となった八街市での交通死傷事故を受け通学路の合同点検を実施予定だ。子どもの命を守るため点検結果を安全対策にしっかりと生かせ。

答弁 点検を進め、4年1月以降、必要な対策の順次実施を目指す。

子どもの視力低下への懸念

質問 タブレット学習やネットの普及で子どもの視力低下が懸念される。国の調査では小中学生ともに年々視力の低下を示しているが、区内の子どものどのような状況か。

答弁 視力10未満が小学生の33%、中学生の68%で国より悪い状況だ。

子どもの心の健康維持

質問 コロナ禍での分散登校の実施など、友達とも満足に会えない状況で子どもがストレスから心の健康を崩さないか心配だ。学校での子ども様子に変わりはないか。

答弁 登校を自粛する子どももいるが、多くは元気に登校している。

ひうち 優子議員
(世田谷)



早期接種に向けた体制拡充

質問 コロナワクチン接種を望む区民が早期に接種できるよう体制強化が必要だ。区内事業者の職域接種や余剰ワクチンの抽選接種など様々な手法を拡大し接種を促せ。

答弁 区民向けの職域接種を行う際はホームページなどで周知する。

接種証明書の発行体制の改善

質問 渡航に必要なワクチン接種証明書に関し国外接種者への発行や郵送発行の期間短縮、窓口での

即日発行を望む声が多い。区民の利便性を考慮し発行体制を見直せ。

答弁 電子化などの国の検討を注視し、発行事務の加速化を図る。

玉川や野毛地区での豪雨対策強化

質問 以前の台風19号で被害を受けた玉川や野毛地区での豪雨対策を強化すべきだ。排水樋門閉鎖に伴う溢水に備え雨水貯留浸透施設整備などを望む住民の声にこたえよ。

答弁 当該地区を流域対策推進地区に位置づけ、対策を一層進める。

あべ 力也議員
(減税)



ワクチン接種済証活用で経済再生

質問 コロナ禍で停滞した経済活動を再開するためワクチン接種済証を生かした民間の取組が進むと考えられる。区としてはどのように活用を促していくつもりなのか。

答弁 国の実証実験などの動きを注視し区としての対応を検討する。

校庭の人工芝化・ナイター化を！

質問 学校の施設整備の在り方を見直し区民ニーズに即したスポーツの場を確保していくべきだ。学校改築などの機を捉え、校庭の人工芝化やナイター設置を検討せよ。

答弁 区民利用に資する整備について改築や改修時を捉え検討する。

抗体力クテル療法を早期導入せよ

質問 国は新型コロナウイルスの重症化を防ぐ抗体力クテル療法の在宅での使用を進めるため、モデル事業を行う予定だ。区長は国に働きかけるなど区での早期実施に尽力せよ。

答弁 医師会との相談や情報集約に努め区内での早期使用を目指す。

江口 じゅん子議員
(共産)



感染抑止の為の大規模検査拡充を

質問 大規模検査による早期発見が必要であり学校の抗原検査実施を評価する。社会的検査の対象拡充と複数回実施に取り組むことで、地域の更なる感染抑止につなげよ。

答弁 検査対象拡充の検討とともに迅速な検査実施に向け取り組む。

指定管理の経堂図書館の課題

質問 経堂図書館は毎年赤字収支が拡大、職員交代も激しく、公共性等問われる問題の改善が無い。来年度2館の指定管理導入に反対。区は課題認識しどう改善するのか。

答弁 約369万円の支出超過や職員定着の課題の改善を指示している。

祖師谷団地建て替えは住民参加で

質問 まちづくり意見交換会参加者から「団地住民の声が聞かれていない。高さ等の意見が言えなかった」等声が届いた。地域の認知度も低く住民参加の街づくりを。

答弁 様々な手法で丁寧の説明し、参加と協働のまちづくりを進める。

羽田 圭二議員
(立憲)



新たな生活困難層への区独自支援

質問 コロナ禍により現行の社会保障制度のはざまで支援を受けられない非正規雇用労働者などが新たな生活困難層として顕在化した。区は支援策強化に向け尽力せよ。

答弁 国の制度設計が必要であり、国に対し支援を強く求めていく。

環境に優しい交通社会の構築

質問 災害や感染症拡大を引き起こす気候変動問題への対策が急務だ。公共交通機関や自転車の利用を促進することでCO2排出量を削減し環境に優しい交通社会を目指せ。

答弁 各所管で連携し環境負荷の低い交通手段の利用促進に努める。

誰もが働きやすい社会の実現

質問 障害者や高齢者に限らず全ての人が個性に合わせ働けるユニバーサル就労の理念に沿った地域社会を築くべきだ。区民や事業者などとの協働を通じ実現を図れ。

答弁 普及啓発に努め、関連機関と連携して就労支援策を進める。

河野 俊弘議員
(自民)



三軒茶屋のまちづくりの機運醸成

質問 三軒茶屋再開発への機運を高めるには区民がまちの変化を目で見て実感できることが重要だ。

駅周辺施設を更新した際などは区民に分かりやすく情報を発信せよ。

答弁 社会実験などを進め、まちづくりの推進に積極的に取り組む。

全区立校でのICT活用力の向上

質問 ICT教育の学校間格差を解消すべきだ。オンライン上で他校の子どもと学ぶ場の創出も視野に、授業での活用事例を共有するなど教員への支援体制を強化せよ。

答弁 学校の垣根を越えた情報共有で全校の活向上を図っている。

新BOP学童クラブでの弁当提供

質問 長期休暇期間中の学童クラブでの昼食は、働く保護者の負担を考慮し、既に大多数の区が弁当のデリバリーを導入した。当区も実施可能な学童から早期実現せよ。

答弁 早急に課題整理し保護者などの意見も踏まえ導入を検討する。

金井 えり子議員
(生ネ)



濃厚接触者のPCR検査体制拡充

質問 新型コロナウイルスの濃厚接触者に該当した方から区に検査を断られたとの相談を受けた。感染への不安を解消するため濃厚接触者にも積極的に検査できる体制を築け。

答弁 必要な検査数の確保や丁寧な案内など体制の充実に努める。

地域で支え合う避難の体制づくり

質問 災害時には高齢者などの避難行動要支援者を地域で協力して助ける体制が必要だ。町会、自治会に加えて地域における支援者を増やすための取組を推進せよ。

答弁 個別避難計画作成の中で地域の連携協働の具体策を考える。

ペットと共に避難できる環境整備

質問 ペットが心配で災害時に避難をためらう人は少なくない。動物専門学校等の協力を得て場所を確保し、人もペットも避難所で一緒に過ごせる同伴避難を実現せよ。

答弁 飼い主もそうでない方も安心して避難できる体制を整備する。



問 質 一 般

ひえしま 進議員
(F行革)



区の社会的PCR定期検査の実態

質問 区長が世田谷モデルと称し、場当たり的に進めてきた社会的検査の定期検査は3年9月末で事実上の廃止となる。検査に血税を幾ら投じ、陽性者は何名出たのか。

答弁 経費は総額約3億7800万円、1万6305件検査し陽性者数は25件だ。

区のスクリーニング検査の実態

質問 PCR検査数増に向け区長が魂を込め拙速に始めたプール方式でのスクリーニング検査も3年12月末で停止する。これには血税を幾ら投じ陽性者は何名出たのか。

答弁 経費は総額約1億6000万円、1万6033件検査し陽性者数は2件だ。

世田谷モデル失敗の区民への説明

質問 莫大な税金を投じた世田谷モデルは我々が有効性の欠如を指摘したとおり福祉施設でのクラスターを防げなかった。この失敗をしっかりと総括し区民に説明せよ。

答弁 社会的検査の実績をホームページなどで広く周知している。

高岡 じゅん子議員
(生ネ)



区民と進めるグリーンインフラ

質問 気候危機が叫ばれる今こそ具体的な環境行動が必要だ。グリーンインフラ学校などの啓発活動に一層注力し環境問題への区民意識を高めて具体的な行動につなげよ。

答弁 区民の行動を促す啓発活動に創意工夫して取り組んでいく。

プラスチックごみゼロ社会の実現

質問 CO2排出量実質ゼロを目指す区は化石燃料が原料であるプラスチックの焼却もゼロを目指すべきだ。まずは可燃ごみ最小化に向けプラスチック分別回収を実現せよ。

答弁 関係する審議会に諮問するなど分別回収の検討を進める。

障害者に対する情報保障の在り方

質問 制定予定の障害者差別解消に向けた条例には、災害時の緊急情報などを障害特性に合った形で

提供する情報保障の視点が不可欠だ。条例にどう位置づけるのか。

答弁 どのような内容が有効か関係者の意見を聞き条例を検討する。

加藤 たいき議員
(自民)



宿泊療養がしやすい体制づくり

質問 新型コロナが感染爆発した8月に宿泊療養の体制不備により自宅療養を強いられた区民が多くいたことは遺憾だ。確実に宿泊療養できるように都に強く働きかけよ。

答弁 対象者が減少してはいるが、都へ確保するよう強く働きかける。

自宅療養者の健康観察手法の改善

質問 増える自宅療養者の体調悪化に対応できる健康観察手法が必要だ。医療機関と迅速に連携できるようにオンラインなどを活用した仕組みをつくり感染者の命を守れ。

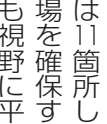
答弁 都や医師会と連携し健康観察の在り方について検討を進める。

子どもの遊び場の確保

質問 区内人口90万人超に対しボールが使える区立公園は11箇所しかない。子どもの遊び場を確保するためBOPの再構築も視野に平日の放課後に校庭を一般開放せよ。

答弁 遊び場開放などの利用状況を把握した上で検討を進めていく。

たかじょう 訓子議員
(共産)



北烏山区会館廃止案の見直し

質問 区は北烏山区会館の統廃合を検討中だが近隣の集会所は規模が小さいため区民サービス低下は明らかだ。大規模団地建て替えによる人口増も見据え検討し直せ。

答弁 サービス向上に向け地域資源を最大限活用するよう検討する。

住民自治推進を保障する条例制定

質問 区は地域行政推進条例骨子案から区民の知る権利や自主的な活動を保障する規定を削った。住民主体のまちづくりの推進に向け住民自治の理念を再度明記せよ。

答弁 区政や地域活動への区民の主体的な参加が進むよう検討する。

補聴器購入費の助成制度の創設

質問 高齢者にとって難聴は生活圏を狭め認知症につながるかねない。23区中14区が行う補聴器購入費助成を当区も早い早期使用を促すことで高齢者の生活の質を守れ。

答弁 制度の公平性や持続可能性など多角的な点から検討していく。

菅沼 つとむ議員
(自民)



旧池尻中跡地活用事業の賃賃料

質問 旧池尻中跡地活用では敷地面積1万469㎡、延床面積6249㎡の規模を運営事業者に貸し付ける。区はこの立地や規模に見合う賃料として一カ月幾らに設定するのか。

答弁 公益的な事業の収支などを勘案し100万円ほどで検討している。

自宅療養者の見守り体制の強化

質問 新型コロナの自宅療養者の死亡が相次いでおり対策が急務だ。自宅療養者へ毎日連絡を入れ容体の急変に迅速に対応する墨田区に倣い、区も見守り体制を強化せよ。

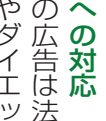
答弁 地域医療と連携した健康観察体制の整備などを進めている。

違反に当たる誇大広告への対応

質問 接骨院や整骨院の広告は法で制限されており割引やダイエット効果をうたう宣伝は違法だ。区内でも散見されるこのような誇大広告に区はどのように対応しているのか。

答弁 施術所開設時の事前説明や実地調査による指導を行っている。

阿久津 皇議員
(自民)



ウィズコロナの経済対策の推進

質問 ワクチン接種が進むことで感染対策と同時に経済対策を推進すべきだ。区は感染対策を徹底する区内事業者に協力を上乗せするなどのインセンティブを与えよ。

答弁 インセンティブに関しては、せたがやベイ活用も含め検討する。

確実な陽性者把握への仕組み構築

質問 PCR検査後、保健所から検査結果が届かずに大きな不安を抱く受検者がいる。区は医療機関

からの陽性者の発生届を保健所が確実に把握する仕組みを確立せよ。

答弁 都や国に課題提起し、医師会と共に迅速な把握に取り組む。

採算性を確保した交通不便対策

質問 公共交通不便地域解消は高齢者の外出機会が増え地域活性化などにつながる。区は厳しい財政状況を踏まえ採算性確保を前提にコミュニティバス事業を導入せよ。

答弁 砧モデル地区での採算性向上に努め、新たな対策を検討する。

佐藤 ひろと議員
(公明)



気象防災アドバイザーの採用

質問 近年の深刻な風水害に備えるには防災気象情報の迅速正確な分析が不可欠だ。地域の気象情報を熟知し防災知識も備える気象防災アドバイザーを区で採用せよ。

答弁 他自治体での導入状況を確認するなど調査研究を進める。

公共施設への国産木材利用の推進

質問 輸入木材は海外情勢によって急な価格高騰や供給不足が生じるため、施設整備に支障を来すおそれがある。区の公共施設整備においては国産木材を活用せよ。

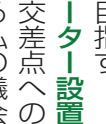
答弁 コスト面の検討は必要だが、積極的な木材の活用を目指す。

環八船橋交差点エレベーター設置

質問 過去の環八船橋交差点へのエレベーター設置に係る私の議会質問に対し、区は前向きに取り組むと答弁したが一向に進展がない。区は設置を実現する気があるのか。

答弁 都と調整し当該交差点のバリアフリー化実現へ検討を進める。

中里 光夫議員
(共産)



区立保育園の定員減は拙速だ

質問 4月に0才児の欠員が出たが年度途中入園で解消している。定員減は区立保育園の緊急保育など公的責任の後退につながり反対。保護者や関係者の声を聞き見直せ。

答弁 需要や施設状況、現場の声を踏まえ定員数を慎重に見極める。

民営化した図書館を評価検証せよ

質問 図書館の民営化に反対だ。経堂図書館の支出超過や頻繁な人員変更が課題だと指摘し、区は課題整理し適正に評価すると答えた。具体的にどう評価するのか。

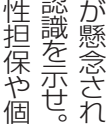
答弁 収支計画の妥当性や人材確保などの改善の視点を取り入れる。

民間テスト導入に対する区の認識

質問 4年度都立高入試で採用する英語スピーキングテストを区立中で試行予定だが、不公平な採点や個人情報漏えいなどが懸念されるため中止すべきだ。認識を示せ。

答弁 実施の際は公平性担保や個人情報漏えい防止が必須と考える。

穴戸 三郎議員
(自民)



ハザードマップに対する意識調査

質問 災害対策には個々人がリスクを把握し対策しておくことが重要だ。区はハザードマップを全戸配布したことに満足せず、区民がマップを認識しているか調査せよ。

答弁 4年度の区民意識調査などを通じ認識や活用状況を把握する。

水害対策の強化に向けた情報発信

質問 洪水の危機が迫る状況では、区民が避難準備を早期に行えるよう詳細な河川水位情報を時系列で示すべきだ。水位予測を行う国などと連携し迅速に情報を発信せよ。

答弁 早期に避難の準備ができるよう情報発信を一層強化する。

実践的な防災訓練の重要性

質問 区の防災計画が機能するためには実践的な訓練が十分に行えていることが前提となる。区民の生命と財産を守るため、コロナ禍であってもしっかりと訓練せよ。

答弁 様々な手法や工夫を取り入れ、実践的な訓練を継続する。



インターネット議会中継をご利用ください

本会議と予算・決算特別委員会の模様を区議会ホームページで、ライブ配信しています。ライブ映像は、会議終了後、当日のうちに録画映像としてご覧いただけます。議員ごとに編集した映像は、会議のあった日からおおむね1週間後に配信します。インターネット議会中継は、パソコンだけではなく、スマートフォンでもご利用いただけますので、臨場感あふれる映像をぜひご覧ください。



世田谷区議会 議会中継 で検索！

会派等の意見

2年度決算を審査するため、43名の議員で構成する決算特別委員会を設置し、9月30日から10月14日の間、延べ7日間にわたり質疑を行いました。
ここでは、決算特別委員会での質疑や要望、今定例会最終日に表明された令和2年度決算に対する各会派等の意見の一部を要約してお伝えします。

本会議での意見表明者

自由民主党世田谷区議団…おぎのけんじ議員
公明党世田谷区議団…いたひとし議員
世田谷立憲民主党区議団…中山みずほ議員
無所属・
世田谷行革110番・維新…桃野 芳文議員
日本共産党世田谷区議団…たかじょう訓子議員
生活者ネットワーク
世田谷区議団…高岡じゅん子議員
新風・せたがやの風…小泉たま子議員
減税せたがや…あべ 力也議員
レインボー世田谷…上川 あや議員
世田谷無所属…ひうち優子議員
Seisagasaあらた…佐藤 美樹議員
都民ファーストの会…そのべせいや議員
国際都市せたがや…神尾 りさ議員
区民を守る会…くろはら博之議員
無所属…青空こうじ議員

世田谷の明るい未来の実現に向け 明確な将来像を描き区政運営せよ

―自由民主党世田谷区議団―

（全ての会計に賛成する意見）

令和2年度は、特別定額給付金やワクチン接種など新型コロナウイルスへの対応により7度の補正予算が組まれ一般会計の歳出額は400億円を超えた。一方、歳入面はふるさと納税により56億円損失したが、特別区税の納税者増に伴い前年度比22億円増加して、財政運営上はコロナショックを回避した。しかし、区内の生産年齢人口の増加は鈍くなる見通しであり、歳出面の財政構造を革新しなければ、区政運営が困難に陥る危険性がある。2年度の「事務事業等の緊急見直し」に満足せず不断の見直しを行え。なお、我が会派は区が安易に先送り対象とする学校改築や道路整備こそ最優先事業と考える。いかなる状況でも将来への投資を怠るな。

また、119億円に上る過去最高額の基金残高や適正水準を超えた6.1%の実質収支比率が示すとおり、財源が有効活用されず不用額の割合が増加した。予算編成の際は適正な積算を徹底せよ。更に、新実施計画全169事業の達成率は35%にとどまり、ここ数年10%ずつ低下する現状は行政評価が何ら区政運営に役立たないことの証左である。今後の評価手法を真剣に検討せよ。

以下、区が重点的に推進すべき施策について申し述べる。

コロナ禍で収益が伸びる業界と落ち込む業界に二極化する「K字回復」という現象は区民生活でも起きており、フリーランスや飲食業者、雇止めを受けた非正規雇用者などにコロナの影響が直撃した。区民に寄り添ったきめ細かな支援策を早期に打ち出し、安定した区民生活基盤の構築に尽力せよ。災害に強いまちづくりについて、「区民の生命と財産を守る」という確固たる信念の下、局地的集中豪雨や一昨年の台風19号の被害を教訓に、水害対策を一層強化せよ。

区民が安全に安心して生活できるよう、三軒茶屋駅周辺まちづくりや京王線連続立体交差事業、主要生活道路整備など、相応の年月を要す事業も着実かつ迅速に進めよ。旧池尻中跡地活用については、今回の決算特別委員会で、区が現行プランを見直すと表明した。区は各会派の様々な意見を吟味した上で、貴重な区有資産をいかに収益化し未来を見据えよう事業展開するのか、じっくりと検討して我々が応援したくなるプランを示せ。地域行政推進条例の制定及び推進計画については、議会での議論の前に庁内で熟議を重ね実効性あるプランを練ることが先決だ。DXの取組と並行し新たな時代の行政サービス構築に向け全庁一丸となりかつてない迅速さで取り組め。最後に区長に対し苦言を呈す。組織のリーダーには、自ら明確なビジョンを描き部下に的確に伝達

する能力が必須だが、目下の重要課題である旧池尻中跡地活用や地域行政制度ですら、何を目指し、どう進めたいのか、我々に全く伝わってこない。関心ある施策なら反射的に飛びつき暴走する一方、興味が湧かないと区民や事業者の意見を聞くだけで部下に丸投げする悪癖を直ちに改め、92万区民を預かる者として理想論だけでなく現実的な将来像を明確に区民や庁内に示せ。また、自分の決断が政府のお墨つきを得たと、自民党国会議員を引き合いに出し他人の威を借りて正当化する行為は厳に慎め。更に、災害時に匹敵する緊急事態下の9月に宮崎副区長が任期途中で退任したにもかかわらず、区長は副区長や部長を増員しない上、この苦境を変革の好機と捉える感覚も欠如している。区の未来を形づくる組織と人員の在り方について、しっかりと思慮を重ねよ。

区制施行90年の節目である4年度の予算編成では、区民に安心感を届けることに、将来に向けて積極投資を行うことを強く求める。

今こそ真の行財政改革を断行し 誰もが希望を持てる社会を築け

―公明党世田谷区議団―

（全ての会計に賛成する意見）

区には新型コロナウイルスの影響による減収を見込んだ行財政改革が求められる中、次期基本計画への橋渡しとなる未来つながるプランからは区の危機感が感じられない。コロナ禍の難局にある今こそ、新公会計制度を活用した全事業の大胆な見直しや事業の民間活用で生み出された財源を、区民生活に還元する真の行財政改革を断行せよ。以下、我が党が最重要課題と考える施策について意見を述べる。第1に、若者へのコロナワクチン接種促進に向け、行動様式に沿った接種体制の整備と正しい情報

の周知に一層努めよ。また、感染再拡大に備え保健所が自宅療養者を確実に守り切る体制を構築せよ。第2に、地域コミュニケーションの再形成に向け避難行動要支援者の個別避難計画の作成などでは区民に寄り添うまちづくりセンターの姿勢を示せ。また、地区を支える支所の役割と責任を明確化し区民に信頼される地域行政を実現せよ。

第3に、旧池尻中跡地活用事業はコンセプトや運営方法が不明瞭だ。区民に利益を還元できる施設、区内産業の発展に資する事業となるよう計画を早急に再考せよ。

第4に、区立保育園の0・2歳児の定員減などを図り、欠員が続き経営難にある私立園の存続に尽力せよ。また、学童クラブの時間延長などのニーズに柔軟に対応するため我々が求めてきた新BOP（BOP）民営化について早急に結論を出せ。

第5に、避難所の電源確保に向け国の補助を活用し太陽光パネルと蓄電池を配備せよ。また、被災者へ食糧を供給でき孤立も防げる食のネットワーク構築に向けロジ・ハブ拠点を大規模公園に設けよ。

第6に、法のはざまで支援を受けられず経済的負担を抱える若年がん患者を区が独自に支援せよ。また保健センターが、がん対策の拠点となるよう検診の充実を図れ。

第7に、開設予定の教育総合センターと乳幼児教育支援センターは庁内連携で取り組め。教育委員会は教育課題への先駆的な研究の成果を教職員支援に生かし、公教育の礎となる責任と役割を果たせ。

第8に、区は子ども・子育て応援都市として、コロナ禍の影響で家計が急激に悪化した世帯を学校給食費無償化の対象に追加するなど、教育格差の是正に尽力せよ。

持続可能な区政運営を早期実現し 区民の生活を守る施策を展開せよ

―世田谷立憲民主党区議団―

（全ての会計に賛成する意見）

コロナ感染再拡大に備え、ワクチン3回目接種の円滑な実施体制の構築に加え未接種者への誹謗中傷などが起こらないよう十分配慮せよ。第5波の医療逼迫による自宅療養者増を踏まえ臨時医療施設での対応や酸素吸入、抗体力クテル療法などの実施に備えよ。生活困窮者への居住支援の拡充とともに生活保護を人権保障の点から確実に機能させよ。外出自粛による高齢者の健康状態悪化の改善に向け具体策を講じよ。以下、我々が最重要課題と捉える施策を述べる。

ふるさと納税対策では、70億円もの流出を踏まえ、金融機関と連携して遺贈寄付を募るなど暮らすまちへの寄附マインド醸成を図れ。DX推進では、国が個人情報保護基準の一律化を図る際、本人が情報管理に関与する権利を区独自に設けよ。社会に資する産業分野などでのオープンデータ活用や、根拠を明確にした政策を推進せよ。

CO₂排出量実質ゼロへの取組では、環境に配慮した区内建物の普及に加え、区施設での年間エネルギー消費量収支ゼロを目指すZEB化の道筋を早期に示せ。プラスチックの資源循環の仕組みをつくれ。子どもの権利保障については、インクルーシブ教育の実現やヤングケアラーへの支援、性暴力防止いじめ対策など今日的課題に迅速に対応せよ。不登校児童生徒の増加を踏まえ対策の強化とともに、学校現場の課題を総合的に捉えた上で教育の在り方を見直し第二次教育・ビジョンに明記せよ。

障害福祉分野では、医療的ケア相談センターの開設で終わらせずに、保護者の就労支援も都と連携

して強化せよ。障害者が権利の主体として生き生きと暮らせる社会を目指せ。重度障害者の介助支援を就業中も行うなど一層拡充せよ。旧池尻中跡地活用ではこの間区と議論を重ねたが懸念点が解消されていない。まずは区が行うべき事業としての有用性を明確にせよ。重要施策には全庁横断的に連携を図り縦割り行政を排して臨め。

区長はコロナ対策の失敗を猛省し 実効性のある施策を展開せよ

―無所属 世田谷行革110番・維新―

（全ての会計に賛成する意見）

我が会派は、新型コロナウイルスが猛威を振るい始めた昨年3月の議会で、区民に無用な混乱を招き行政への不信感が高まるような不用意な言葉や不正確な言葉は慎むよう区長に強く指摘した上で、2年度予算案に賛成した。しかし区長は、実現可能性がない「誰でも、いつでも、何度でもPCR検査」を副区長や区幹部に相談せず独断的にメディアで喧伝し区民を混乱に陥れた。2年度決算を認定するに際し、区長は首長としてあるまじき言動を慎むよう改めて強く指摘する。

また、高齢者施設などでの無症状者を対象にした区長こだわりの社会的検査に対し、我々は1回限り、もしくは月単位の低頻度な検査では感染を抑止できないと再三指摘した。案の定、集団感染は複数発生し、検査に感染抑止効果はないことが明らかになったが、区長は無症状者への検査拡大の執念を捨て切れず、今年9月から区立校の行事前などに1回限り検査を行う抗原定性検査を始めた。区民の血税をこれ以上浪費しないため、区長は効果が見込めない検査へのこだわりは捨て、この間の反省を総括し今後の対策に生かせ。



決算特別委員会の模様をホームページで録画配信しています。
世田谷区議会 議会中継 で検索!

令和2年度決算に対する

区民生活を守る財政運営を行え

―日本共産党世田谷区議団―
(国保会計と後期高齢者会計には反対一般会計と介護会計と給食会計には賛成する意見)

わが党は、コロナ禍から区民の命と暮らしを守る施策を求めてきた。区の方針はこれと概ね合致、感染抑止に繋がる社会的検査、保健師増員やひとり親世帯支援等評価する。行革ではふじみ荘廃止に参加と協働が貰かれず、改善が必要。区財政は健全であり区民生活を守る運営を根幹に据えよ。

今後の感染対策は大規模検査、医療機関支援等充実を。保健所体制強化、酸素ステーション機能拡充等行え。再度の持続化給付金を国に求め、区独自支援を。今後の区政運営は新自由主義を乗り越え住民の福祉増進の区政への発展を。図書館・児童クラブの民間活用、区立保育園定員減・再整備は、セーフティネットの後退等懸念され、区民参加で再検討せよ。地域行政条例に住民参加の仕組みを。介護職確保に注力せよ。

誰もが互いを尊重する社会を築け

―生活者ネットワーク世田谷区議団―

〈全ての会計に賛成する意見〉

昨年度、不要なオリパラ予算を削り、コロナ禍への対策に集中したことを評価する。まちづくりセンターでのワンストップ窓口を実現せよ。社会的検査を維持し保健所体制や地域医療連携を強化せよ。住居確保など困窮する母子家庭への支援を強化せよ。子どもの権利を守れ。セクシャル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツに係る性教育を全区立中で行え。公共施設での自然エネルギー活用を進め区民に波及させよ。予防型の化学物質汚染対策を講じよ。グリーンインフラ整備を進めよ。女性目線で災害対策を講じよ。障害者理解や差別解消に係る条例の検討に当事者を交え、同時に手話言語に係る条例も検討せよ。普通学級での医療的ケア児受入れを進めよ。プ

スチックごみの資源化は世田谷清掃工場での中間処理を含め考えよ。

謙虚な気持ちで区政運営に臨め

―新風・せたがやの風―
(全ての会計に賛成する意見)

行政は区内最大のサービス産業である一方、区民は選ぶことができない。区はこれを肝に銘じ、常に謙虚な気持ちで区政運営に臨め。区の政策の決定過程や責任の所在は極めて不透明だ。意識を改め議会への丁寧な説明に努め、信頼関係を構築せよ。DX推進と地域行政充実は実現への具体的な計画や組織体制を示し、強力な牽引役の下で一体的に進めよ。旧池尻中跡地は区全体で活用方法を検討せよ。都市基盤整備や子どもの教育は対症療法ではなく未来を見据えた明確な目標を定め、着実に推進せよ。

全庁一丸で区民福祉の向上を図れ

―減税せたがや―
(全ての会計に賛成する意見)

人口10万人当たりのコロナ陽性者数は23区中10位前後と早期発見や重症化防止に成功した社会的検査は東京最大の92万区民の命を守った施策と評価する。更に検査とワクチンの両輪で第6波に備えよ。区長の下、職員一丸で着実に事業執行し区民救済の正義を実現せよ。

多様性に配慮ある区政運営を行え

―レインボー世田谷―
(全ての会計に賛成する意見)

区条例で同性カップルへの差別は禁止だが家族扱いする医療機関は2カ所だけ。区は言いっぱなしの協力要請を改めよ。区教委の人権教育に係る答弁や行政計画も実体的ない空白は明らか。是正せよ。在留資格を問わず提供できる行政サービスは人道支援を優先せよ。

スピード感を持って施策を進めよ

―世田谷無所属―
(全ての会計に賛成する意見)

新型コロナウイルスの自宅療養者への訪

問診療体制を早急に強化せよ。図書館全館での自動貸出しに向けICタグを導入せよ。区民が気軽にスケートボードを楽しめる環境を整えよ。区営住宅にエレベーターを設置せよ。大井町線の開かずの踏切解消に向け地下化を検討せよ。

区の未来を見据え政策を進めよ

―Setagaya@n't―
(全ての会計に賛成する意見)

区の政策はDXの先の世田谷の将来像であるデジタルビジョンを明確に描いた上で進めるべき。手続のために来庁するニーズがなくなっても替わる行政の価値を見いだせ。環境と経済の効果を同時に狙うグリーンリカバリーの視点をもち持続可能な世田谷を築け。

根拠に基づき区の将来像を築け

―都民ファーストの会―
(全ての会計に賛成する意見)

区は科学的根拠を基に区政を運営せよ。コロナ対応を検証し柔軟性に富んだ組織を築け。デジタル化の進展により物理的境界のない今に即した区政運営を目指せ。家庭の経済状況による教育的格差の是正に取り組み。子どもが主体的に将来を選べる社会を実現せよ。

持続可能で魅力的な世田谷を築け

―国際都市せたがや―
(全ての会計に賛成する意見)

行政と民間の役割分担を明確化した上で官民連携を推進し、持続可能で魅力ある世田谷を築け。地域の人材による主体的なまちづくりを進めるため、区の未来を担う子どもや若者の育成に力を注げ。DXを推進し誰もが参加と協働の機会を得られる社会を目指せ。

区民が求める情報を迅速に届けよ

―区民を守る会―
(全ての会計に賛成する意見)

新型コロナウイルスの第5波の経験を教訓に区民や事業者への支援拡充と保健所の体制強化を行い感染再拡

大に備えよ。災害や卑劣な特殊詐欺から区民を守る取組、生活困窮者などへの支援では、助けを求める方に必要な情報が迅速に届くよう、広報体制の強化と充実を図れ。

子どもに貴重な経験の場を設けよ

―無所属―
(全ての会計に賛成する意見)

登下校時の交通事故を防ぐため、全区立小で通学路の安全点検を継続的に行え。コロナ禍で様々なストレスを抱える子どもの心の健康維持に努めよ。子どもの貴重な経験となる宿泊行事の再開を前向きに検討せよ。美しいまちを保つためきれいな公共トイレを整備せよ。

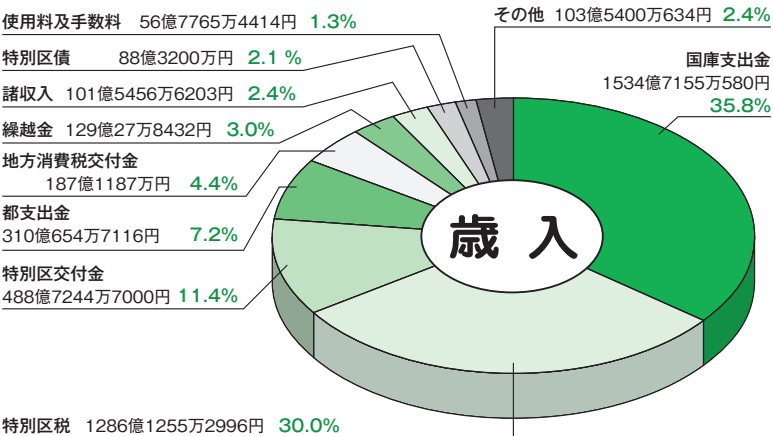


決算特別委員会での採決の様子

令和2年度各会計決算額

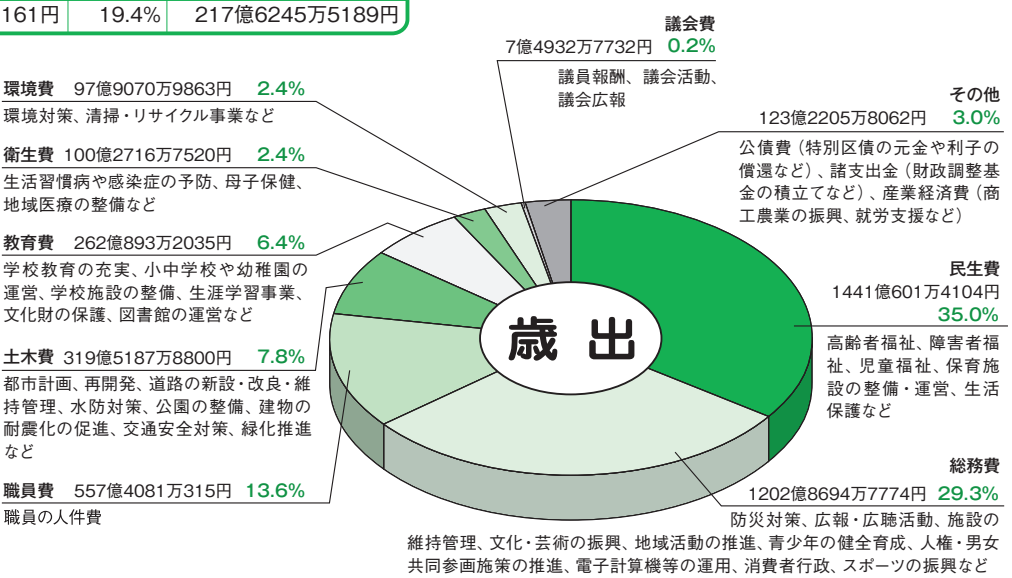
	歳入決算額	対前年度比伸び率	歳出決算額	対前年度比伸び率	歳入歳出差引額
一般会計	4285億9346万7375円	30.1%	4111億8384万6205円	29.9%	174億962万1170円
特別会計					
国民健康保険事業会計	798億5000万1251円	-2.2%	786億6190万990円	-3.2%	11億8810万261円
後期高齢者医療会計	219億9082万4204円	0.2%	212億9779万2628円	-0.4%	6億9303万1576円
介護保険事業会計	714億5568万7157円	3.6%	690億2726万7889円	4.6%	24億2841万9268円
学校給食費会計	23億4125万4363円	-7.3%	22億9797万1449円	-7.8%	4328万2914円
計	6042億3123万4350円	19.8%	5824億6877万9161円	19.4%	217億6245万5189円

一般会計決算の内訳（％＝構成比）



※構成比（％）は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならないものがあります。

令和2年度 決算のあらまし



↑1ページからの続き↓

8